



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

## CONTENTS

H.C.R. 2012 福祉機器利用者アンケート  
集計結果がまとまりました! \_\_\_\_\_ 1

H.C.R.セミナー報告  
「有料老人ホーム、サービス付き  
高齢者向け住宅等の現状と選び方」 \_\_\_\_\_ 3

NEWS \_\_\_\_\_ 7  
・平成25年度の政府予算案まとまる  
・小規模施設にスプリンクラー設置義務化 ほか

H.C.R. 2013開催案内  
(※出展申込の募集締切が迫っております!) \_\_\_\_\_ 8

編集・発行：一般財団法人 保健福祉広報協会  
Publisher : Health and Welfare Information Association  
住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

## H.C.R.2012 福祉機器利用者アンケート 集計結果がまとまりました!

高齢化の進行とともに、生活様式や社会の環境の変化などにより、福祉用具へのニーズはますます多様化、個別化する傾向にあります。

一方で、介護ベッドや電動車いすなどをはじめ、福祉機器をめぐる事故は多く報告されており、使用方法の注意喚起や安全性確保のための指導が行われています。

H.C.R.では第39回国際福祉機器展H.C.R. 2012

の会期中に「福祉機器利用者アンケート」をホール内で実施し、817件の回答を得ました。

回答者の内訳は、男性が215名(26%)、女性が602名(74%)で、年齢別にみますと、20歳代以下が90名(12%)、30歳代が140名(17%)、40歳代が204名(25%)、50歳代が198名(24%)、60歳代が119名(15%)、70歳代以上が64名(7%)となっています。

H.C.R.では今回の調査結果を踏まえ、福祉機器の選び方・使い方など、利用者に向けた機器に関する適切な情報の発信にさらに努めてまいります。

関係者のみなさまにおかれましても、福祉機器の研究・開発・普及や販売などを進められるうえで、今回の利用者の声を役立てていただければ幸いです。

### 1 福祉機器情報の入手 (※複数回答可)

福祉機器情報の入手先は、「福祉機器常設展示場」が21%と最も多く、次いで「介護ショップ」の13%です。いずれも、実際に機器を見て、触れ、知ることができる利便性によるものと思われます。続いて、「販売会社営業担当者」の8%、「H.C.R.福祉機器情報サービスホームページ」と「各企業のホームページ」の7%という順になっています。

2011年の前回調査に比べて傾向は変わっていないものの、「市町村役場」や「地域包括支援センター／在宅介護支援センター」などが減り、逆に「H.C.R.福

祉機器情報サービス」をはじめとした各団体のホームページからの情報入手が7%から11%へと、また、「一般新聞紙」「業界紙」という回答が6%から8%へと、それぞれ微増との結果となりました。

### 2 相談窓口 (※複数回答可)

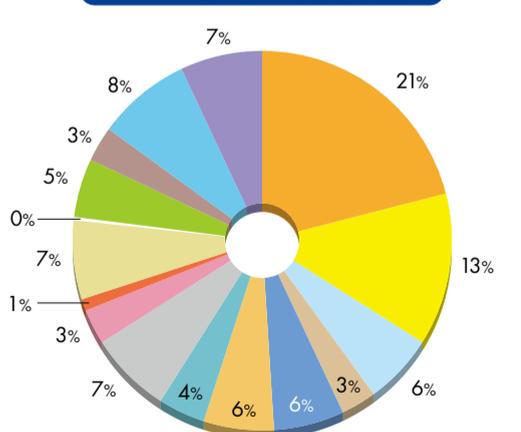
福祉機器を購入・レンタルするときに相談した窓口としては、2011年の前回調査ではじめて一番多くなった「地域包括支援センター／在宅介護支援センター」がさらに回答数を伸ばし、22%から26%、29件の増となりました。続いて、「市町村役場」と「販売企業の

営業所窓口／営業員」の19% (回答数は前者の方が3件多い) となっています。一方で、「医師・病院」「ホームヘルプ事業者」「老人福祉施設」「障害者福祉施設」の合計が、29%から23%と減少傾向を示しています。

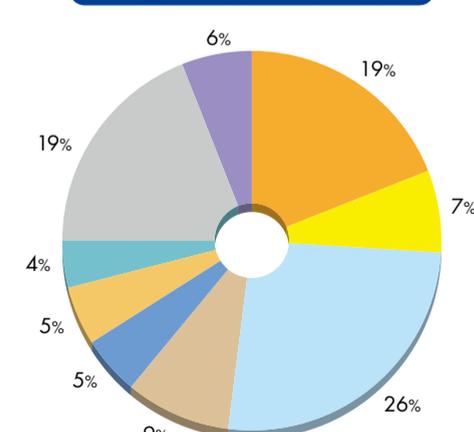
### 3 福祉機器の利用にあたって望まれること (※3つまで選択可)

福祉機器の利用については、さまざまな要望が出されました。最も多かったのが、「操作のしやすさ」で24%、続いて、「安全性」で18%と、いずれも2011年の前回調査よりも増加の傾向にあります。利用者の多くが高齢であることから、操作性が分かりやすいこと

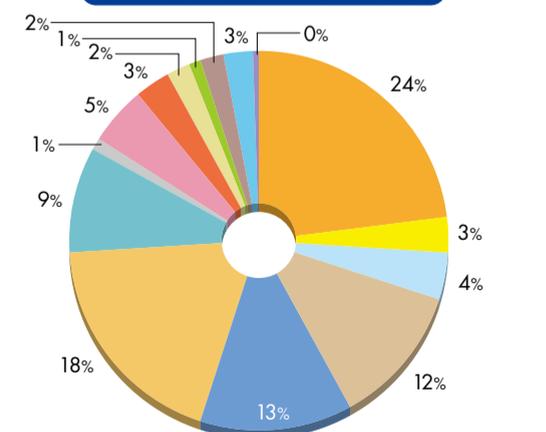
1 福祉機器情報の入手方法



2 購入／レンタル時の相談窓口



3 利用にあたって望まれること



や、使いやすい機器の操作方法が事故防止にも効果的だと考えられます。

また、3番目は「価格の安さ」の13%で、この上位の順番はここ数年定着してきています。一方では、値段だけで選ぶことよりも、操作性の高さや安全性への配慮などを重視する傾向にあるという回答結果となっています。

## 4 福祉機器の開発や利用についての意見・要望

色合い、材質や形などへのこだわりの声や、細かな障害への配慮や年齢などの特性に合わせた製品の開発への希望、進んでいく高齢化や在宅でのケアを想定した機器を求める意見など、さまざまな要望が寄せられました。

- ① 高齢の聴覚障害者の生活に対応できる機器がもっと増えてほしい。
- ② 視覚障害者向けの機器の開発がもっと進んでほしい。
- ③ まだまだ介助者主体の製品が多いように思う。
- ④ 機器のお試し利用ができる機会が、もっとあればいいと思う。
- ⑤ 介助者にとっても操作がしやすいと助かります。
- ⑥ 高齢者向け、幼児向けの機器に比べて、成長途中の中高生向けのものが少なく残念です。
- ⑦ 障害のある人も、機器の開発に参加させてほしい。
- ⑧ 機器の微細な調整や手直し・修理などは、容易にできるようにしてほしい。
- ⑨ 色や柄をカラフルにするなどの工夫で、機器を使用することが楽しくなるといいと思います。
- ⑩ クッション系などは、細めに水洗いができて、清潔さを保てるがいいと思います。
- ⑪ 介護食の味つけを濃くしたり、ゼリー食はもっとおいしくしてほしい。
- ⑫ 稼動用の各種器具（リフトなど）は、狭い家の中なかでも利用しやすくしてほしい。
- ⑬ 福祉車両のレンタル情報をもっとほしかったです。
- ⑭ 老老介護の時代に向けて、介護者用のハンドマッサージのようなものがあればいいと思います。
- ⑮ 高齢化が進む知的障害者が機器を使用するにあたり、安全性の高さと操作理解の簡易性が求められます。
- ⑯ 一人暮らしの高齢者が増え、とくに服薬管理をしなければならない方が多くなるなかで、そうした方々が住みなれた場所で生活していけるような福祉機器の開発をこれからも期待しています。
- ⑰ プライベート部分を充実させるための機器が、もっと開発されるといいです。
- ⑱ 商品のPRをもっとたくさん行ってほしい。とくにH.C.R.前には、予備知識を得たいです。
- ⑲ 身体機能の向上のみならず、心楽になる製品やソフトがもっともっと増えてほしいです。
- ⑳ 高価な機器が多いので、使いたくても買えない現実があり、我慢しているうちに大きな事故になりかねない。使いたい機器を、もっと安価に、安心して使いたい。
- ㉑ リビングで気軽に使えるタイプのいすや、家族と同じ時間を過ごせるいすなどが増えるとよいです。
- ㉒ 知的障害者向けの商品を、もっと展示してほしいです。たとえば、レクリエーションやコミュニケーションに関する製品など。

## 5 福祉機器に対する不満

「機器に対する不満」について、フリーアンサーで回答を求めました。各製品に共通した傾向として、「価格の高さ」「製品の重さ、大きさ」「デザイン性の乏しさ」「種類の少なさ」「自分にぴたりと合った製品の見つかりにくさ」などを指摘する声が目立ちます。製品の品目ごとの回答は次のとおりです。

### (1) 手動車いす

- ① 車いす座位による姿勢維持を継続することで起こる疲労、褥瘡のケアの難しさがあります。
- ② 冬と夏は衣類で違うことがあまり想定されていないか、ウエストベルトが短くて使えないことがあります。
- ③ 製品に重量があることと、組立に時間がかかることに困っています。
- ④ リクライニング・ティルト部分の故障が多いです。
- ⑤ 背中中の位置や汗の通気性という点で、誰が座らせてもいつも同じ位置にくるような装置がほしいです。
- ⑥ 特殊タイヤなのでチューブの交換に時間を要することと、タイヤの選択肢があまりないことが不満です。
- ⑦ 暗くなったときの照明がほしいです。

### (2) 電動車いす/電動スクーター

- ① 価格が高くて、重量がありすぎると思います。
- ② メンテナンスの際に、代用できる製品を借りにくい。

### (3) 車いす用クッションなど関連用品

- ① むれやすい製品が多いです（とくにジェルタイプの場合で、子どもが使用するケース）。
- ② 色やデザインの種類が少ないです。
- ③ 前の方にズレてくるときがあります。

### (4) 歩行器/歩行補助車

- ① 脳卒中患者用の歩行器があるといいと思います。
- ② 片手で操作できる歩行器がほしいです。
- ③ 可変ボタンの色が各社共通ではないので、わかりにくい。

### (5) 杖

- ① カタログ販売の店が多くて、実物を見てから買うことができないので、製品が届いてみるとイメージと見た目が違うことがあります。
- ② 室内で使用するときに、ゴムがかたいので大きな音がするのが気になります。

### (6) 据置式・固定式リフト

- ① 装着に時間がかかるのが難点です。
- ② ベルトで固定された際の安定が悪い。

### (7) 福祉車両

- ① 天井を高くするよう工夫されているのと思いますが、まだ少し低いです。
- ② 車種など、どうしても選択の幅が狭くなってしまっています。
- ③ ステップの形状や高さなどを、変えられるように

なるといいと思います。

### (8) ベッド

- ① 定期点検の回数が少ないと思います。
- ② スイッチの操作が、利用者本人が行うには難しいです。
- ③ モーターの稼動域が狭いです。

### (9) マットレス

- ① エアマットがむれやすいのが難点です。

### (10) その他ベッド用品

- ① 座位で立てる製品が少ないです。

### (11) シャワーチェア

- ① 家庭向きのコンパクトな製品がほしいです。
- ② 座面が高く不安定な製品が多いように思います。

### (12) 滑り止め用品

- ① 蛇口から出るお湯の力でマットが浮いてしまったことがありました。

### (13) 入浴用リフト

- ① 製品を使うまでの間の介助に手間をとられます。もう少し簡単にできればいいのですが。
- ② ほとんどの製品のベルトが固いです。

### (14) ポータブルトイレ

- ① 汚れが落ちにくいことや、衛生面（処理）の問題も感じます。
- ② 部品単位で売っていると、修理しやすくいいと思います。
- ③ 室内にいかにもトイレというものを置くことには、やはり抵抗を感じます。

### (15) おむつ

- ① 各個人の状況に合った製品がなかなか見つかりにくく、状況の変化にも対応しにくい面があります。
- ② 価格が高いことと、箱買ではないと買えない製品があることに問題があると思います。
- ③ 消臭機能に劣る製品が多いと思います。
- ④ 漏れやムレが気になりますし、皮膚トラブルにつながりやすいという実感があります。

### (16) 食器用具/食器

- ① とろみをつけたものでも、よく口からこぼしてしまいます。

### (17) スロープ

- ① 段差解消部分が長過ぎて、装着時や脱着時の操作が面倒な点を改善してほしいです。

### (18) 手すり

- ① 角度が調整できると便利だと思います。
- ② 太さが合わない製品に苦慮します。
- ③ 滑りやすい材質でつくられた製品に苦慮します。

### (19) 口腔ケア用品

- ① ウェットタイプのものを使用していますが、もう少し水分があってもいいように思います。